

### ヨークベニマルの取り組むプラスチック削減につきまして

株式会社ヨークベニマル(本社:福島県郡山市、代表取締役社長:真船 幸夫)は、セブン&アイグループの環境宣言「GREEN CHALLENGE 2050」に基づき、CO2 排出量削減やプラスチック対策をはじめとした、様々な環境保護活動に取り組んでおります。

ヨークベニマルでは、プラスチックの排出抑制と容器包装の使用量削減を目指し、2020年7月より、全店にてレジ袋を有料で提供しております。レジ袋販売で発生した収益金は、出店している5県(宮城県・山形県・福島県・栃木県・茨城県)に対し、寄附\*をしております。

※2021年は、レジ袋の収益金14,713,648円を寄附

また、生鮮売場で使用するトレーのうち45%は、店頭で回収したトレーを原料としたリサイクルトレーを導入。さらに、鮮魚売場や青果売場では、植物由来の原料を使用したトレーも一部導入しています。

今年4月から施行されました、「プラスチック資源循環促進法」への対応としまして、お客様にお渡りするカトラリーを、バイオマス配合品や紙素材のものに変更いたしました。

#### 【ヨークベニマルが取り組むプラスチック削減(5項目)】

##### ① 惣菜・弁当用カトラリーの環境配慮型素材への切り替え

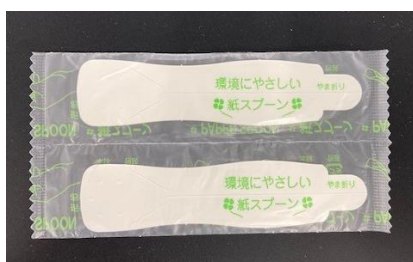
惣菜・弁当用のカトラリー(スプーン、フォーク等)を、抽出後のコーヒー豆を原料としたバイオマス10%配合品に切替え。



紙のパッケージに封入



##### ② デザート用スプーンを紙素材に変更。



### ③ レジ袋の削減

2007年6月より、レジ袋の有料化をスタートさせ、順次拡大(現在は全店で実施)。  
ヨークベニマル全店のレジ袋辞退率は83%(2022年3月実績)。

### ④ ノントレー商品の販売(精肉部)

トレーを使用しないノントレーパッケージの商品を店舗にて販売。  
ノントレー包装機等の導入店舗:127店舗(22年2月末現在)



ノントレー商品(一例)

### ⑤ 植物由来の原料を使用したトレーの導入(鮮魚部・青果部)

鮮魚売場の珍味コーナー:植物由来原料95%以上のプラカップを一部導入。

青果売場の果物コーナー:植物由来原料95%以上のプラカップを一部導入。



鮮魚用プラカップ(植物由来原料95%以上)



青果用プラカップ(植物由来原料95%以上)

セブン&アイグループは、環境宣言「GREEN CHALLENGE 2050」を定め、お客様やお取引様をはじめ全てのステークホルダーの皆様と共に“豊かで持続可能な社会”の実現に向けて取り組んでまいります。

# GREEN CHALLENGE 2050

私たちの挑戦で、未来を変えよう。